

山陽マルナカ真備店 福島県浪江町民有志による「なみえ焼きそば」振る舞いのお知らせ

イオンは、「地域社会に貢献する」という経営理念のもと、2011年の東日本大震災被災地の復旧と復興に向けてさまざまな支援活動を進めてまいりました。当社では、2016年12月から、募金活動やボランティア活動を通じて福島県浪江町を支援しており、地震・津波被害と放射線量の問題から福島県内外への避難を余儀なくされた浪江町民の絆の維持と町コミュニティの再生に取り組んできた「まちづくりNPO新町なみえ」に、遠方地から出来る継続的な支援を続けてまいりました。

この度、2018年7月の西日本豪雨災害において被災した真備店がリニューアルオープンしたことを祝し、これまでの支援に対する返礼として、昨年のマックスバリュ本郷店（マックスバリュ西日本(株)）に引き続き、「まちづくりNPO新町なみえ」が中心となり、ふるさと自慢の「なみえ焼きそば」をお振る舞いいただける事となりましたので、お知らせいたします。

記

1. 開催日時：2019年12月7日（土）11時～（なくなり次第終了）
2. 場 所：山陽マルナカ真備店敷地内（岡山県倉敷市真備町川辺1922）
3. 内 容：
 - ・先着300名様に「なみえ焼きそば」を無料でご提供いたします。（ご来場おひとりにつき1食）
 - ・仮設住宅（真備総仮設団地）に「なみえ焼きそば」100食をお届けいたします。
4. 運 営：特定非営利活動法人まちづくりNPO新町なみえ 理事 原田雄一様（浪江町商工会前会長） 他4名様
5. 協 力：名水美人ファクトリー株式会社様（もやし提供）

■福島県浪江町とは

福島県浜通り（沿岸部）の北部に位置し、双葉郡に属します。2011年3月11日の東日本大震災での東京電力福島第一原子力発電所の事故のため、浪江町全域の住民が避難を余儀なくされ、21,000人を超える全町民は福島県内外に散り散りになりました。震災から6年経った2017年3月31日には、ようやく一部地域の避難指示が解除され、一部地域での居住ができるようになるなど、復興に向けた取組みが進み、2019年7月14日には町内で事故後初のスーパーマーケットとなる「イオン浪江店」が開店いたしました。しかし、現在も多くの町民が福島県内外での避難生活を余儀なくされています。

■「なみえ焼きそば」

1950年ごろ浪江町の飲食店の店主が考案し、2000年代に入り浪江町商工会青年部が町おこしとして取り上げ広まったご当地グルメ。東日本大震災の原発事故でメンバーが各地にばらばらになってしまったものの、日本一のB級グルメを決める「B-1グランプリ」で2013年に見事優勝した逸品。

■山陽マルナカ真備店（岡山県倉敷市真備町）

1988年3月に開店、2001年に現在の敷地に移転し、延べ30年にわたり、たくさんのお客さまにご愛顧いただいておりますが、2018年7月の西日本豪雨災害において被災し、やむなく閉店いたしました。以来1年4ヶ月、お客さまには大変ご不便をお掛けいたしました。建物を再築し、2019年11月13日にリニューアルオープンいたしました。



■これまでの当社による支援内容

- ・「特定非営利活動法人まちづくりNPO新町なみえ」に対する募金贈呈（2017年～）
- ・「復興なみえ町十日市祭運営委員会」に対する募金贈呈と当日の運営ボランティア参加（2017年～）



- ・「一般社団法人まちづくりなみえ」に対する募金贈呈と「なみえ創成小学校・中学校」のイベント運営ボランティア参加（2019年～）

【この件に関するお問い合わせ先】

株式会社山陽マルナカ 総務部 白川（電話：086-265-1111）